平群町

HEGURI

平群町 地震ハザードマップ 保存版

～地震に対する備え～

わが家の防災メモ

わが家の避難場所	
家族の集合場所	
災害時の緊急連絡先	

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

いざという時の連絡先

- 警察（緊急）…… ☎ 110
- 西和警察署 …… ☎ 0745-72-0110
- 平群交番 …… ☎ 0745-45-0016
- 関西電力（株）奈良営業所 …… ☎ 0742-36-1201
- 消防（火災・救急の要請）…… ☎ 119
- 西和消防組合消防本部 …… ☎ 0745-73-1001
- 西和消防組合消防署北分署 … ☎ 0745-45-3388
- 三室休日応急診療所 …… ☎ 0745-74-4100

災害用伝言ダイヤルの利用方法

地震や洪水などの大災害発生時は、「災害用伝言ダイヤル」が開設されます。このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」（安否情報）の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。携帯電話各社でも同様のサービスを行っています。利用方法は、携帯電話各社にお問い合わせください。

171

「忘れてイナイ（171）」「災害伝言171」などとおぼえてください。

※毎月1日は災害用伝言ダイヤルを体験利用することができます。

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
171	171
↓ガイダンスが流れます	↓ガイダンスが流れます
録音の場合 1	再生の場合 2
↓ガイダンスが流れます	↓ガイダンスが流れます
(●●●●)●●-●●●●	(●●●●)●●-●●●●

被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

↓ 録音　　↓ 再生

避難は みんなで 冷静に!

避難時の服装

- ヘルメットや防災ずきんで頭を保護する。
- 底が厚くはきなれた靴で、手には軍手など着用する。
- 長袖、長ズボンなど肌を出さない服装。
- 荷物は手に持たずリュックサックに入れる。
- お年寄りや子供の衣服には迷子札をつける。

※避難路、避難場所の確認を前もって行い、避難するときは、近所の人と一緒に秩序を守って、決められた場所へ避難しましょう。

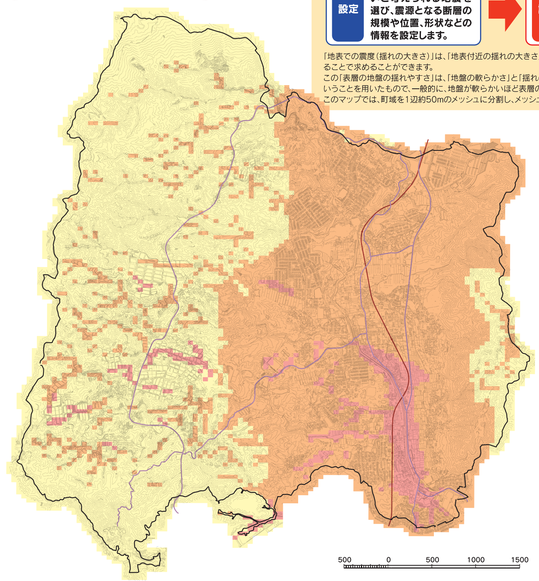
非常持出品を常備しましょう

※各家庭や事業所は、最低3日分の食料や水の備蓄を行い、卓上コンロや固形燃料も用意しておきましょう。（1日1人当たり3リットルの水が目安）

内陸型地震

揺れやすさマップ

中央構造線断層帯地震



揺れやすさマップの作成方法

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度（揺れの大きさ）を予測しています。

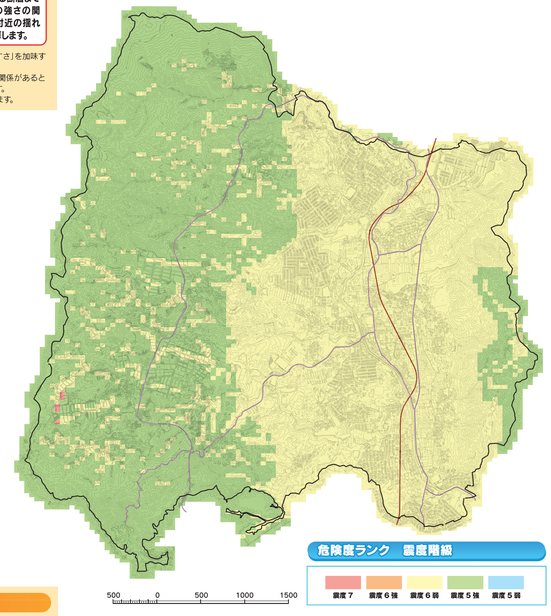
設定　平群町域に影響の大きいと考えられる地震を選び、震源となる断層の規模や位置、形状などの情報を設定します。

→

計算　それぞれの地震について、規模や震源となる断層までの距離と揺れの強さの関係より「地表面付近の揺れの大きさ」を計算します。

「地表での震度（揺れの大きさ）」は、「地表付近の揺れの大きさ」に「表層の地盤の揺れやすさ」を加味することで求めることができます。
この「表層の地盤の揺れやすさ」は、「地盤の軟らかさ」と「揺れの増幅率」との間に密接な関係があるということを用いたもので、一般的に、地盤が軟らかいほど表層の地盤は揺れやすくなります。
このマップでは、町域を1辺約50mのメッシュに分割し、メッシュごとに震度を表示しています。

生駒断層帯地震

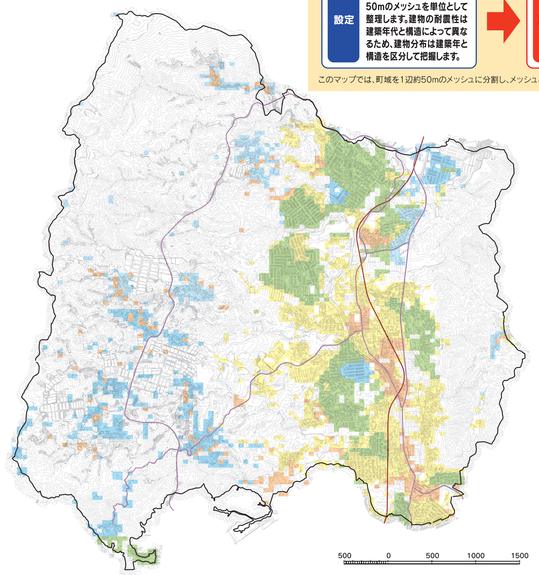


危険度ランク　震度階級

震度７	震度６強	震度６弱	震度５強	震度５弱

建物危険度マップ

中央構造線断層帯地震



建物危険度マップの作成方法

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、地域の危険度（全壊率）を予測しています。

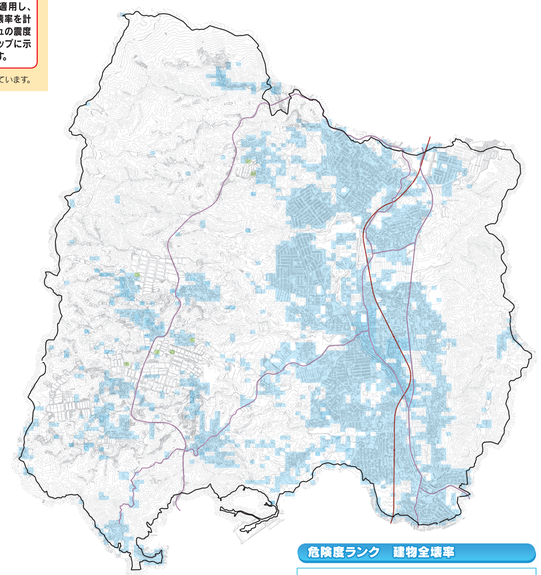
設定　平群町域の建物の分布状況（平成21年現在）を、1辺約50mのメッシュを単位として整理します。建物の耐震性は建築年代と構造によって異なるため、建物分布は建築年と構造を区分して把握します。

→

計算　過去の被害地震記録から求められた震度と建物の全壊率の関係を適用し、メッシュごとの全壊率を計算します。各メッシュの震度は、揺れやすさマップに示した震度を用います。

このマップでは、町域を1辺約50mのメッシュに分割し、メッシュごとに建物の全壊率を表示しています。

生駒断層帯地震



危険度ランク　建物全壊率

0~5%	5~10%	10~30%	30~50%	50%

緊急地震速報

●緊急地震速報とは

地震による強い揺れを、揺れが始まる前にお知らせする「緊急地震速報」の提供が、平成19年10月から始まっています。
「緊急地震速報」は、震度5弱以上の揺れが予測された地域名称などを報道機関や防災機関からみなさまに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒~数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとる必要があります。
ただし、震源域に近い地域では「地震地域速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

●緊急地震速報「利用の心得」

周囲の状況に応じあわてずにまず身の安全を確保する!

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間がわずかしかありません。
その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

■家庭では

- 頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。

■人が大勢いる施設では

- 係員の指示に従う。
- 落ち着いて行動。
- あわてて出口に走り出さない。

■屋外では

- ブロック塀の側面等には注意。
- 看板や割れた硝子の落下に注意し、ビルのそばから離れる。

■エレベーターでは

- 最寄りの階で停止させてすぐに降りる。

■自動車運転中では

- あわててブレーキをかけない。
- ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止。

■鉄道・バス乗車中は

- つり革・手すりにしっかりつかまる。

■山やがけ付近では

- 落石やがけ崩れに注意。

住宅の備え

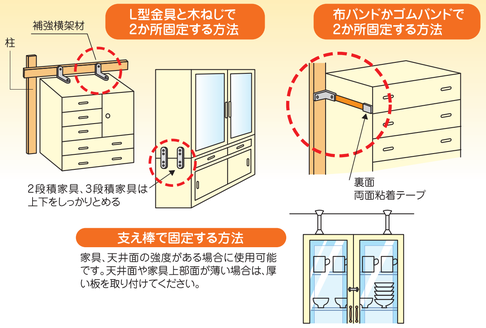
[住居内の転倒物、落下の防止]

阪神・淡路大震災では、多くの人が自宅で就寝中であったこともあり、家屋、家具類等の倒壊による圧迫死が9割近くにも及びました。

また、1993年釧路沖地震では、シャンデリアの落下により1人が亡くなった他、倒れた家具、割れたガラスの破片や落下物等による負傷者が多く発生しました。

このようなことから、被害を最小限にくい止めるためにも、次のような工夫を行いましょう。

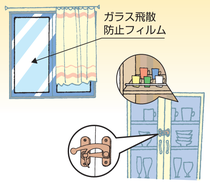
たんすなどの固定例



支え棒で固定する方法

家具、天井面の強度がある場合に使用可能です。天井面や家具上部面が薄い場合は、厚い板を取り付けてください。

食器棚などのガラス飛散防止例



照明器具の固定例

照明器具の揺れを防ぐにはヒモで3点をつる

地震が起きたとき、とるべき行動

グラッときたら 地震発生!

土砂災害の危険が予測される地域は、とにかくすぐ避難!

命を守る

- 落ち着いて、自分の身を守る
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する

1~4分　家族を守る

揺れが収まってから行動

- 家族の安全を確認
- 火の元を確認・初期消火
- 足をケガしないように靴をはく
- 必需品を手元に用意する
- 余震に注意

5~10分　地域を守る

- 隣近所の安全を確認
- ラジオなどで情報を確認
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める
- 家屋倒壊などのおそれがあれば避難する

10分~数時間後　助け合いの心で…

- 協力して消火・救出活動
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 災害情報、被害情報の収集
- 壊れた家には入らない
- 引き続き余震に注意
- 避難所では集団生活のルールを守る
- 自主防災組織を中心に行動する

避難生活

地域ぐるみの助け合い（自主防災組織）

- 「向こう三軒両隣」ということばのように、日ごろから、近所同士の交流を持ち、いざというとき互いに助け合える人間関係を作っておくことが大切です。
- 高齢者や体の不自由な方など、個人では避難が困難な方もいらっしゃいます。これらの人は、身内の手助けとともに、地域の人達が協力して支援することが大切です。